

# 兵庫県下の経済動向

平成23年9月

但馬銀行  
TAJIMA BANK

# 目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

## 【概 況】

最近の県内景気は、震災の影響を残しつつも、持ち直している。生産は、サプライチェーン障害の影響が概ね解消しつつある中で、東日本地区への供給増等を企図した生産積み増しの動きもあって、全体として回復が続いている。輸出は、緩やかに増加している。また、個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、震災後にみられるものの、供給制約の影響が減衰する中で、消費マインドの改善傾向もあって、全体としては緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は依然厳しい状況にあるが、改善基調に復しつつある。この間、設備投資は増加計画にある。一方で、住宅投資は弱めの動きが続いている。公共投資は減少している。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が4か月連続で前年を下回った。乗用車販売は、エコカー補助金終了の影響により、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車とも減少したことから、12か月連続で前年を下回った。家電販売は、スマートフォンの販売が引き続き好調な中、節電意識の高まりなどから省エネ家電の販売が伸びている。

設備投資は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、現時点では、2010年度の減少から2011年度は増加する計画となっている。

住宅投資は、持家が増加したものの、貸家、分譲が減少したことから、全体では2か月ぶりに前年を下回った。

公共工事は、国、兵庫県が増加したものの、神戸市などが減少したことから、9か月連続で前年を下回った。

貿易は、輸出がEU向けが増加したものの、アジア、米国向けが減少し、19か月ぶりに前年を下回った。また、輸入については9か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、電子部品・デバイス工業、化学工業、金属製品工業などの低下により2か月連続で低下した。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を上回ったが、新規求人数は前年を下回った。

また、所定外労働時間、常用労働者数、一人当たり名目賃金はいずれも前年を上回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年を下回って推移している。

企業倒産は、件数、金額とも前月および前年を下回った。

### 兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

6月の兵庫DIは、先行指数42.9%、一致指数44.4%、遅行指数75.0%となった。

6月の兵庫CIは、先行指数95.7、一致指数96.4、遅行指数102.3となった。

兵庫DIは、先行指数が3か月連続、一致指数が3か月ぶりに好不況の判断の分かれ目となる50%を下回ったが、遅行指数は3か月ぶりに50%を上回った。

一方、兵庫CIは、先行指数が2か月連続で前月差増となったが、一致指数および遅行指数が3か月ぶりに前月差減となった。

県統計課は「一部には足踏みの動きが見られる」としている。

\*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【生 産】

7月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は99.7、前月比2.4%低下。出荷指数は98.7、同3.3%低下。在庫指数は120.4、同0.8%上昇。在庫率は137.2、同14.5%上昇。生産指数は2か月連続、出荷指数は4か月ぶりに低下、在庫指数は14か月連続で上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が2.3%増で20か月連続で上昇、出荷は0.1%減で3か月ぶりに低下した。また在庫は17.3%増で13か月連続で上昇した。

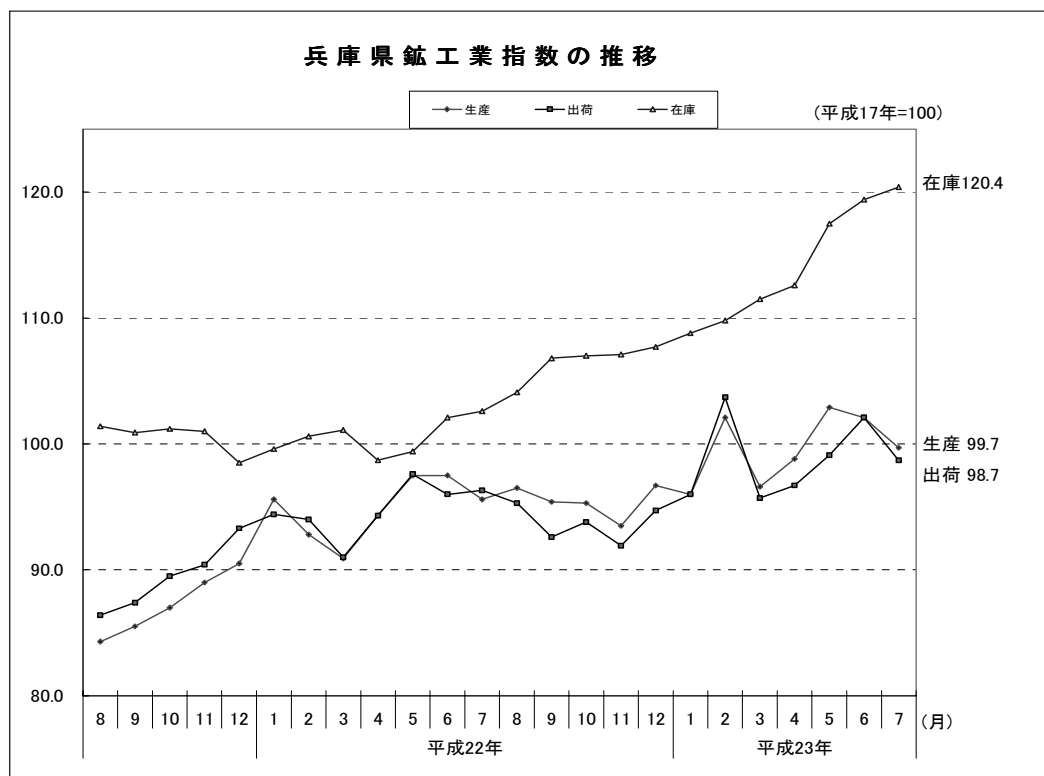
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、カーナビゲーション等の「情報通信機械」が14.8%、一般用タービン発電機等の「電気機械」が7.4%、清酒、ビール類等の「食料品」が4.4%、熱交換機等の「一般機械」が1.4%、各々上昇したものの、PDPモジュール等の「電子部品・デバイス」が32.0%、医薬品等の「化学」が9.9%、ガス温風暖房機等の「金属製品」が9.0%、船用ディーゼル機関等の「輸送機械」が3.7%、普通鋼鋼帯等の「鉄鋼」が0.8%、各々低下した。

県統計課は、「県内の生産活動は、横ばいで推移している」としている。

7月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整済指数		原 指 数	
	対前月比増減(%)	対前年同月比増減(%)	原 指 数	対前年同月比増減(%)
生 産	99.7	2.4	96.8	2.3
出 荷	98.7	3.3	96.1	0.1
在 庫	120.4	0.8	119.8	17.3
在 庫 率	137.2	14.5	134.1	18.1

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



## 7月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	89.6	0.8	上昇	特殊鋼冷間仕上鋼材(圧延鋼材)、普通鋼線材、中形棒鋼、鍛鋼品
			低下	普通鋼鋼管、普通鋼鋼帯、普通鋼冷延広幅鋼帯、鋳鉄管
金属製品	85.8	9.0	上昇	石油温水給湯暖房機、粉末や金製機械材料、水門(水門巻上機を含む)、18リットル缶
			低下	ガス温風暖房機、ガス風呂がま、ガス湯沸器、鋼管製管継手
一般機械	119.0	1.4	上昇	熱交換器、編組機械、混合機・かくはん機・粉砕機、反応用機器
			低下	蒸気タービン部品、建設用クレーン、一般用蒸気タービン、ショベル系掘削機械
電気機械	134.0	7.4	上昇	一般用タービン発電機、開閉制御装置、高圧遮断機、工業用計測制御機器
			低下	電力変換装置、クッキングヒーター、太陽電池モジュール、電気がま
情報通信機械	111.9	14.8	上昇	カーナビゲーション、陸上移動通信装置(携帯電話以外)、レーダ装置、搬送装置
			低下	無線位置測定装置、テレメータ・テレコントロール、パーソナルコンピュータ、固定通信装置、
電子部品デバイス	117.4	32.0	上昇	混成集積回路、スイッチング電源
			低下	PDPモジュール、電界効果型トランジスタ、アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)、IGBT
輸送機械	72.9	3.7	上昇	鋼船、二輪自動車(125ml超)、機関部品、二輪自動車部品
			低下	船用ディーゼル機関、懸架制動装置部品、ショベルトラック、旅客車
化 学	91.4	9.9	上昇	化粧品、酢酸(99%換算)、純ベンゼン、シクロヘキサン
			低下	医薬品、石油化学品製造用触媒、二塩化エチレン、塩化ビニル(モノマー)
食 料 品	103.6	4.4	上昇	清酒、ビール類、冷凍調理食品、配合飼料
			低下	小麦粉、めん類、パン類、肉製品

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた8月の県内百貨店売上高は、前年同月比3.2%減の155億82百万円となり、4か月連続で前年を下回った。中旬以降の天候不順や気温低下で、7月まで好調だったクールビズ関連の紳士服や涼感寝具が落ち込んだ。

神戸地区では、お盆に帰省する際の手土産として洋菓子などが好調だったことから、食品が前年実績を上回った。小・中学生向けの夏休みイベントを強化したそごう神戸店では子供服が伸長。大丸神戸店は、宝飾品や高級時計などが前年を上回った。姫路・加古川地区でも、昨年より前倒しで実施した夏のバーゲン効果が薄れ、婦人服や紳士服が伸び悩んだ。一方、ヤマトヤシキ、山陽百貨店は子供服がともに前年比プラスだった。

9月は、週末の台風などで客足が鈍り、各店とも「足元の業績は苦戦している」と口をそろえた。

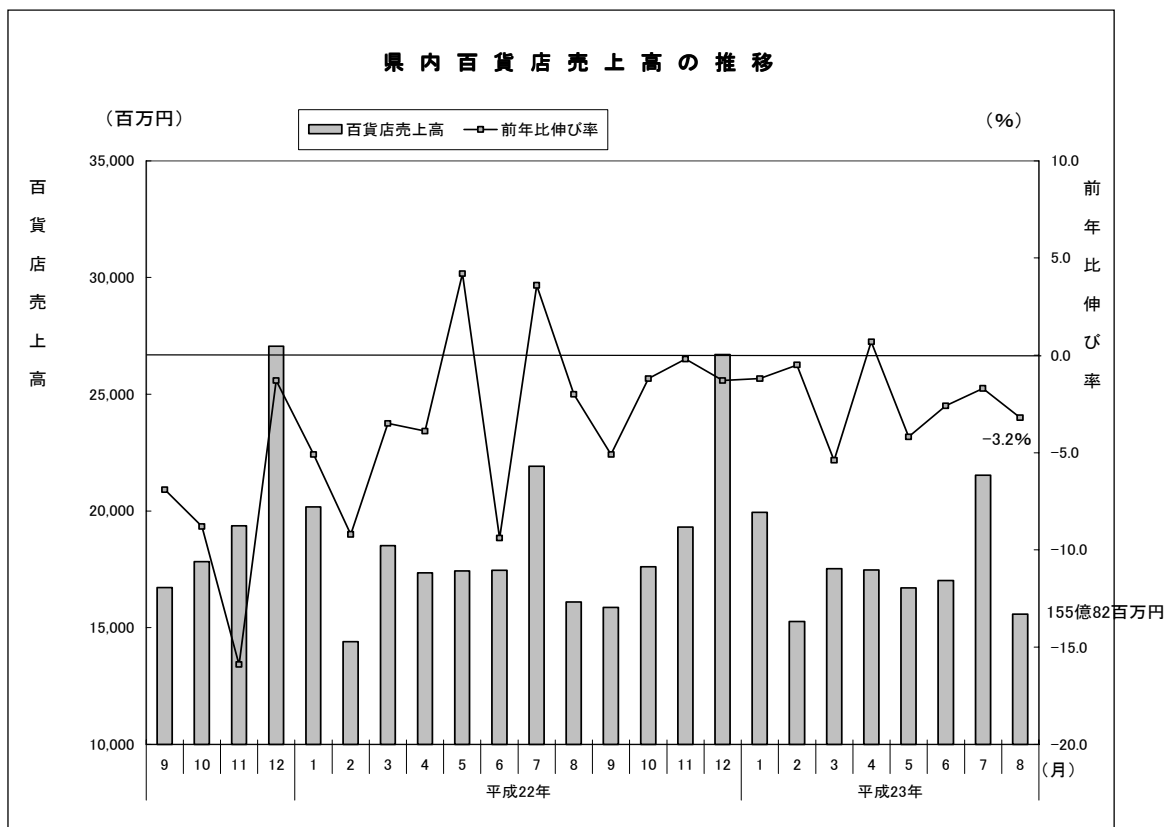
8月の県内百貨店売上高

品目 \ 地区	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	471( 14.0)	119( 10.9)	591( 13.4)
婦人服・洋品	3,400( 1.9)	518( 3.4)	3,918( 2.1)
子供服・洋品	374( 3.7)	70( 12.4)	445( 1.4)
身の回り品	1,294( 8.6)	243( 12.6)	1,538( 9.3)
家庭用品	592( 7.9)	116( 0.4)	708( 6.7)
食料品	4,393( 0.1)	846( 0.1)	5,240( 0.1)
雑貨	1,750( 2.9)	352( 10.0)	2,102( 4.2)
その他	727( 4.6)	309( 0.4)	1,037( 3.4)
計	13,005( 3.1)	2,577( 3.8)	15,582( 3.2)

\* 単位百万円、未満切捨て。( )内は前年同月伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

\* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



## 【個人消費】『新車登録』

県内8月の乗用車新車登録台数は10,264台、前年同月比29.0%減と12か月連続で前年同月の実績を下回った。エコカー補助金終了の影響によるもの。

8月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は3,974台(前年同月比21.2%減)、小型乗用車は3,273台(同45.0%減)、軽乗用車は3,017台(同12.9%減)、乗用車合計で10,264台(同29.0%減)となった。

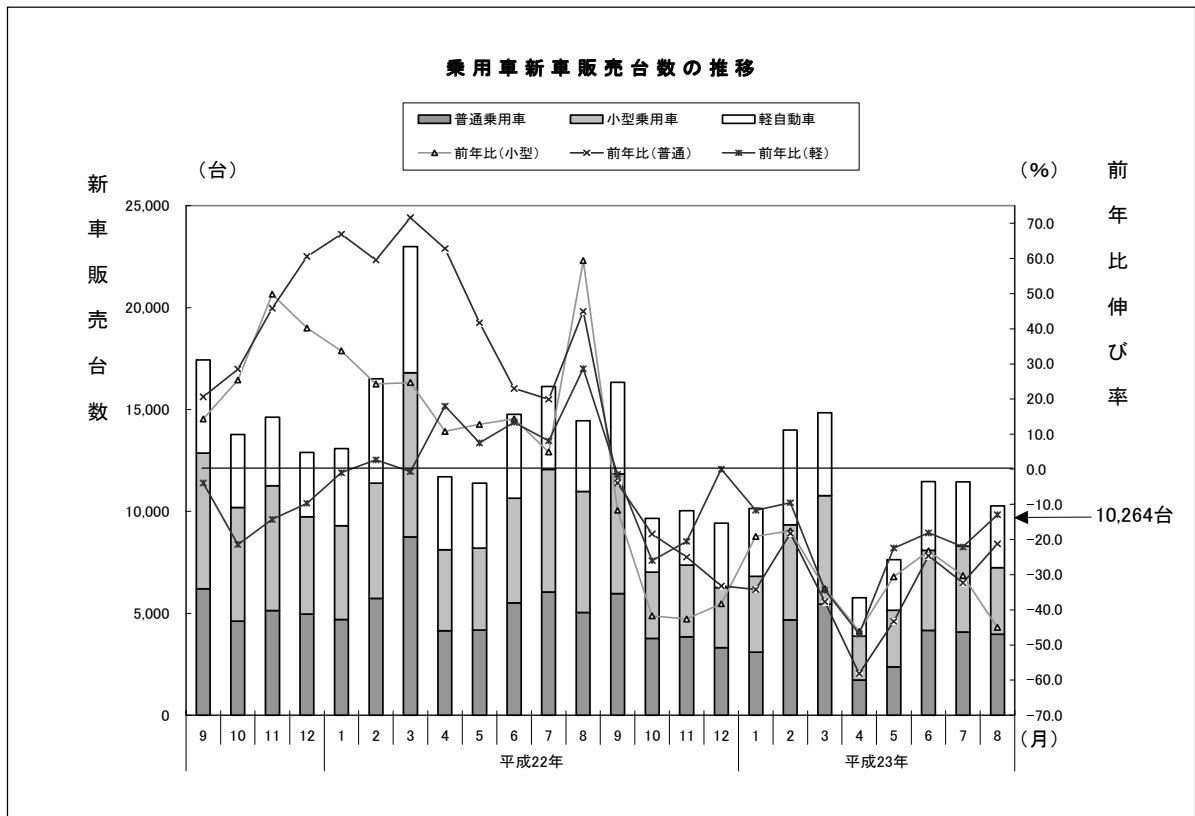
また貨物車等では、普通貨物車は295台(同55.3%増)、小型貨物車は452台(同13.0%増)、軽貨物車は972台(同13.5%減)、バスは61台(同17.3%増)となった。

### 8月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	3,974	21.2	91,809	22.9
小型乗用車	3,273	45.0	96,847	34.9
軽乗用車	3,017	12.9	84,616	16.6
<b>乗用車合計</b>	<b>10,264</b>	<b>29.0</b>	<b>273,272</b>	<b>26.0</b>
普通貨物車	295	55.3	11,447	36.3
小型貨物車	452	13.0	15,188	13.8
軽貨物車	972	13.5	28,709	12.4
<b>貨物車合計</b>	<b>1,719</b>	<b>0.3</b>	<b>55,344</b>	<b>1.6</b>
バス	61	17.3	1,219	4.2
<b>登録車総計</b>	<b>12,044</b>	<b>25.8</b>	<b>329,835</b>	<b>22.4</b>

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



## 【設備投資】

内閣府が9月8日に発表した機械受注統計によると、平成23年7月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、23年6月前月比5.6%増の後、7月は同11.3%減の1兆8,629億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、6月前月比7.7%増の後、7月は同8.2%減の7,252億円となった。

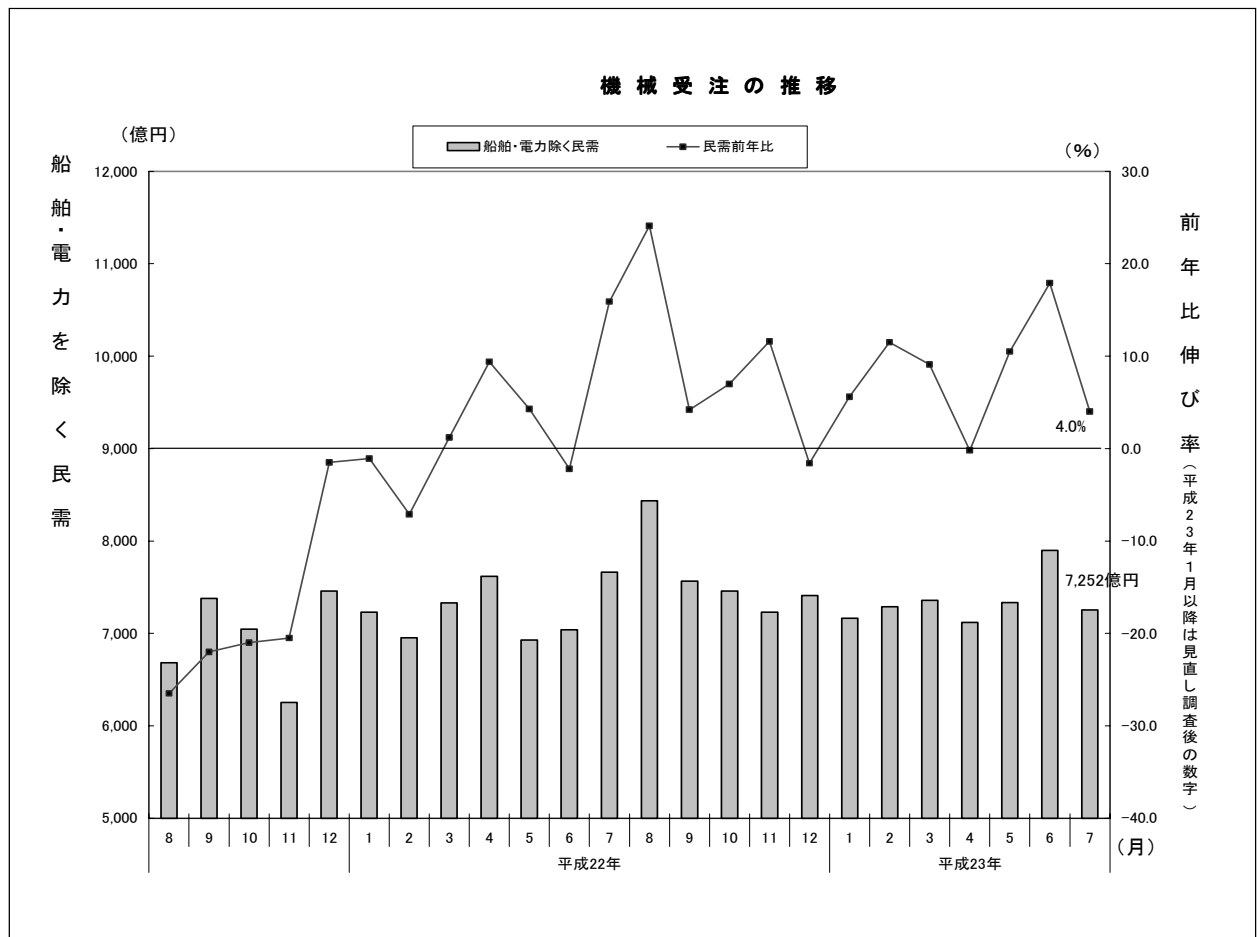
内訳をみると、製造業が同5.2%減の3,261億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同1.4%減の4,383億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、造船業(95.2%増)その他輸送用機械(46.8%増)一般機械(17.0%増)食品製造業(12.7%増)等の6業種で、精密機械(87.2%減)非鉄金属(56.9%減)パルプ・紙・紙加工品(37.9%減)石油製品・石炭製品(17.1%減)電気機械(15.0%減)等の9業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、不動産業(95.3%増)情報サービス業(26.3%増)通信業(9.6%増)等の5業種で、電力業(53.7%減)鉱業・採石業・砂利採取業(44.8%減)金融業・保険業(35.7%減)建設業(28.2%減)等の7業種は減少となった。

兵庫県下においては、2011年度設備投資額は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

\*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2011年6月 兵庫県  
設備投資計画：全産業前年度比+7.3%(製造業+13.4%、非製造業 9.4%)





機 械 受 注 統 計 ( 平 成 23 年 7 月 分 )

	22年 7~9月 実績	10~12月 実績	1~3月 実績	4~6月 実績	23年 7~9月 見通し	23年 4月 実績	5月 実績	6月 実績	7月 実績
受注総額	59,380 ( 6.5) [ 25.5]	61,589 ( 3.7) [ 15.7]	67,789 ( 10.1) [ 18.8]	61,253 ( -9.6) [ 9.4]	60,716 ( -0.9) [ 1.8]	20,354 ( 3.1) [ 3.7]	19,893 ( -2.3) [ 14.7]	21,005 ( 5.6) [ 10.4]	18,629 ( -11.3) [ -5.9]
民 需	26,640 ( 9.5) [ 16.1]	26,554 ( -0.3) [ 13.6]	27,362 ( 3.0) [ 10.8]	27,926 ( 2.1) [ 15.4]	28,217 ( 1.0) [ 6.4]	8,461 ( 2.8) [ -3.6]	8,873 ( 4.9) [ 20.1]	10,591 ( 19.4) [ 28.2]	8,912 ( -15.9) [ 2.5]
〃 (Ex 船・電)	21,596 ( 5.6) [ 13.9]	20,660 ( -4.3) [ 5.6]	21,813 ( 5.6) [ 8.9]	22,351 ( 2.5) [ 9.8]	22,542 ( 0.9) [ 5.6]	7,119 ( -3.3) [ -0.2]	7,334 ( 3.0) [ 10.5]	7,897 ( 7.7) [ 17.9]	7,252 ( -8.2) [ 4.0]
製 造 業	9,477 ( 13.2) [ 34.4]	9,314 ( -1.7) [ 11.5]	9,807 ( 5.3) [ 16.3]	9,783 ( -0.2) [ 17.2]	9,721 ( -0.6) [ 5.4]	3,194 ( -2.7) [ 7.4]	3,149 ( -1.4) [ 22.5]	3,440 ( 9.3) [ 21.1]	3,261 ( -5.2) [ 3.2]
非製造業 (Ex 船・電)	12,221 ( 2.5) [ 2.3]	11,600 ( -5.1) [ 0.3]	11,761 ( 1.4) [ 3.5]	12,344 ( 5.0) [ 4.2]	12,756 ( 3.3) [ 5.3]	4,058 ( 2.9) [ -5.2]	3,841 ( -5.4) [ 1.5]	4,445 ( 15.7) [ 15.4]	4,383 ( -1.4) [ 5.8]
官 公 需	6,907 ( 3.0) [ -10.1]	6,715 ( -2.8) [ 2.6]	6,310 ( -6.0) [ -10.8]	6,365 ( 0.9) [ -6.9]	5,436 ( -14.6) [ -19.0]	2,002 ( -1.2) [ -16.3]	2,217 ( 10.7) [ 11.3]	2,146 ( -3.2) [ -6.4]	2,110 ( -1.7) [ -7.3]
外 需	25,221 ( 9.5) [ 54.1]	25,426 ( 0.8) [ 22.4]	28,817 ( 13.3) [ 43.1]	25,038 ( -13.1) [ 7.1]	23,832 ( -4.8) [ -0.6]	8,900 ( -2.1) [ 17.1]	8,315 ( -6.6) [ 10.6]	7,823 ( -5.9) [ -3.2]	7,059 ( -9.8) [ -13.5]
代 理 店	2,391 ( 0.6) [ 21.9]	2,328 ( -2.7) [ 8.9]	2,512 ( 7.9) [ 12.3]	2,588 ( 3.0) [ 7.8]	2,364 ( -8.6) [ -1.6]	1,035 ( 23.3) [ 20.8]	803 ( -22.4) [ 8.6]	750 ( -6.6) [ -4.9]	739 ( -1.5) [ -5.0]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
  2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

## 【住宅投資】

県内7月の新設住宅着工戸数は、総数で3,046戸(前年同月比7.5%減)となり、持家が増加したものの、貸家、分譲住宅が減少し、全体では2か月ぶりに前年を下回った。また、前月比では229戸の増加となった。

### 7月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	1,063	12.4	32,382	19.1
・分譲住宅	990	11.4	20,244	33.2
貸家系・貸家	985	19.1	30,464	18.5
・給与住宅	8	38.5	308	57.8
<b>総数</b>	<b>3,046</b>	<b>7.5</b>	<b>83,398</b>	<b>21.2</b>

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

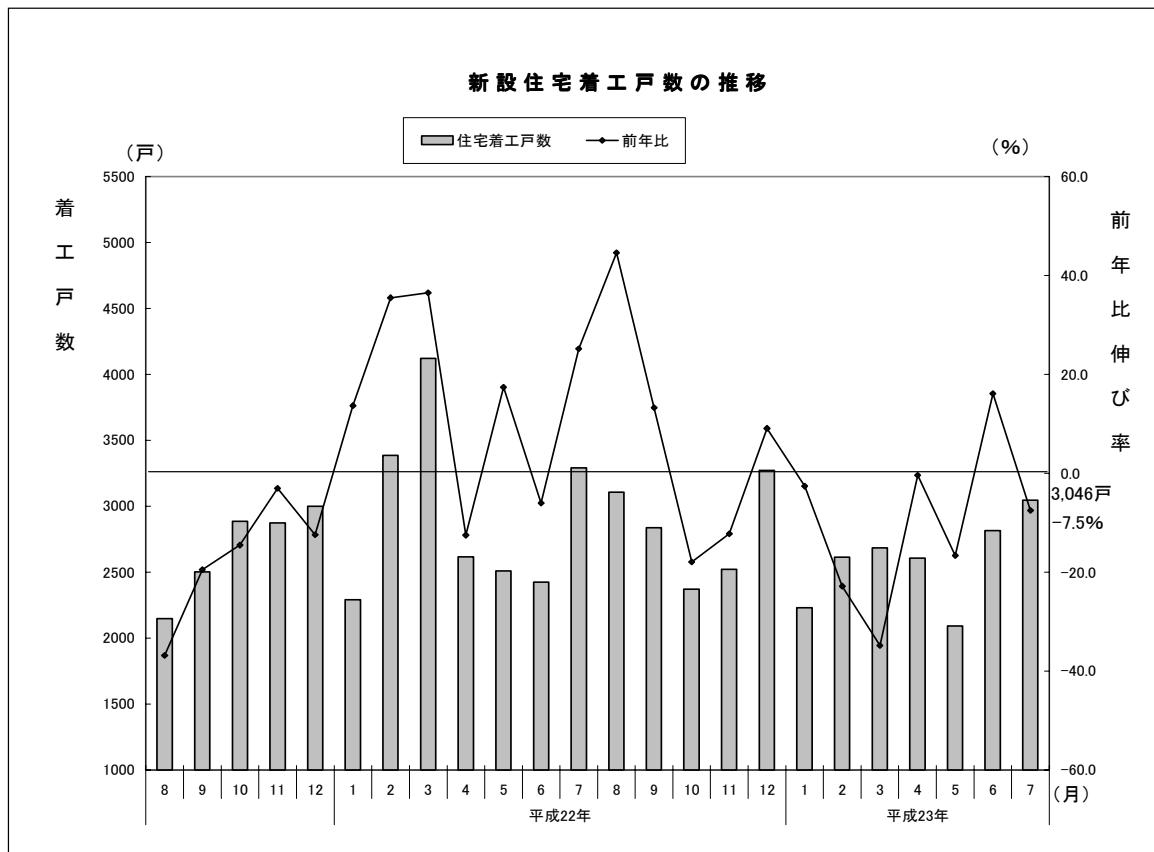
### 7月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	878	609	350	468	111	336	130	75	21	68	3,046
前月比	112	-158	65	97	29	35	10	31	-9	17	229

資料：兵庫県住宅計画課

平成23年4月～7月の新設住宅着工累計は、総数で10,563戸、前年同期比285戸の減少となった。利用関係別では「持家」が3,667戸(前年同期比0.4%増)、「分譲住宅」が3,738戸(同23.8%増)、「貸家」が3,110戸(同20.9%減)、「給与住宅」が48戸(同80.2%減)となった。



## 【公共工事】

8月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況で見ると、件数は413件で前年同月比11.8%の減少、請負金額は181億1百万円で同13.1%の減少となり、金額ベースで9か月連続で前年同月を下回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「国」が前年同月比24.5%、「兵庫県」同4.2%の増加となったものの、「独立行政法人等」同59.0%、「その他の団体」同43.6%、「神戸市」同39.3%、「神戸市を除く市町」同13.7%の減少となり、前年同月を下回った。

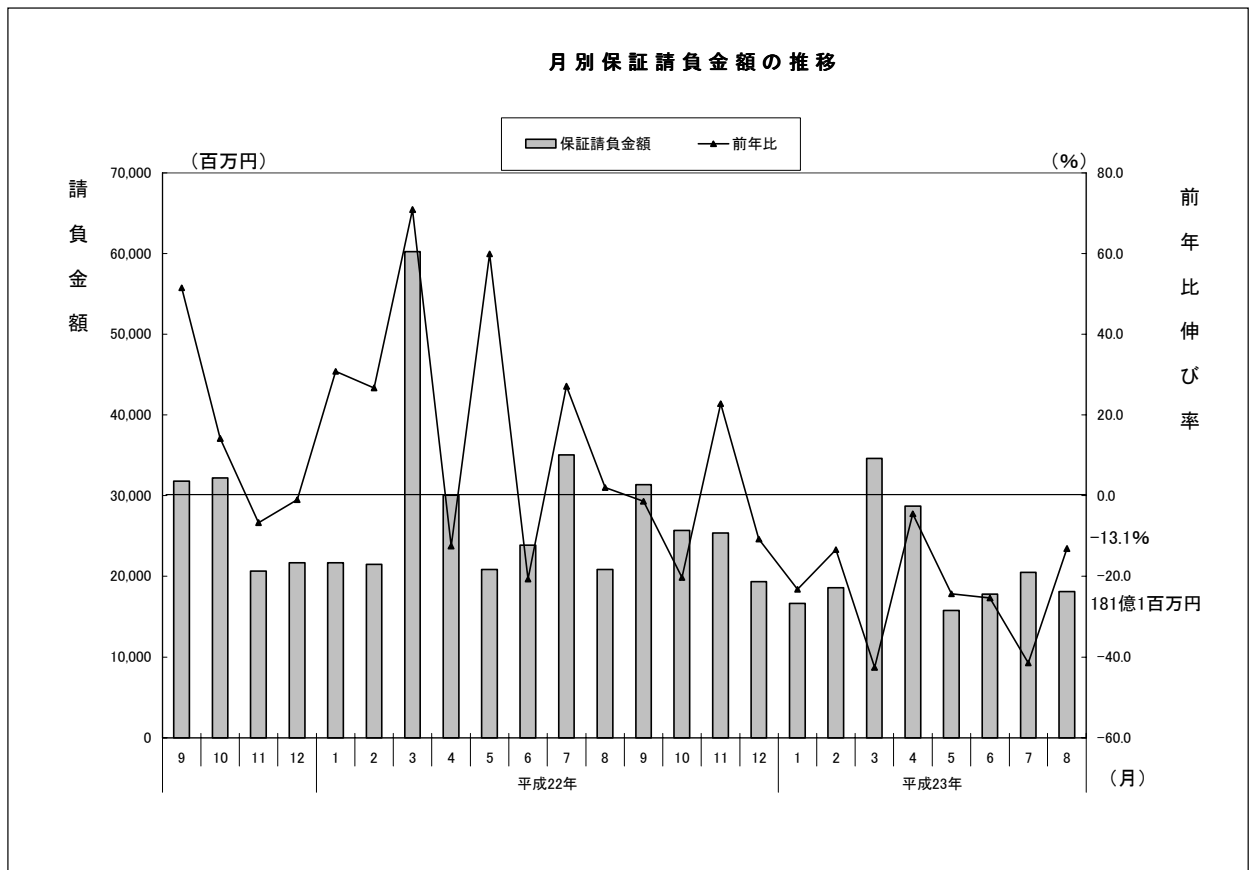
地域別(金額ベース)では、丹波(前年同月比93.4%増)、阪神北(同79.0%増)、北播磨(同55.6%増)、淡路(同13.9%増)、中播磨(同3.0%増)で増加となったが、東播磨(同8.2%減)、但馬(同14.9%増)、阪神南(同28.7%減)、神戸市(同31.5%減)、西播磨(同53.6%減)では減少となった。

### 8月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、( )内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細
国	27( 30.8)	4,256( 24.5)	神戸港ポートアイランド(第2期)地区岸壁改良工事
独立行政法人等	11( 31.2)	548( 59.0)	
兵庫県	155( 5.5)	4,811( 4.2)	
神戸市	58( 38.1)	1,958( 39.3)	
神戸市を除く市町	145( 20.8)	5,439( 13.7)	青垣中学校屋内運動場等改築工事
その他の団体	17( 29.2)	1,087( 43.6)	
合計	413( 11.8)	18,101( 13.1)	

資料：西日本建設業保証(株)



## 【貿易】

平成23年7月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,886億円、前年同月比0.8%の増加で、総額ベースで19か月連続で増加となった。輸出は、重電機器などが増加したものの、船舶、原動機などが減少した。一方、輸入は、肉類及び同調製品などが減少したものの、衣類及び同付属品、有機化合物などが増加した。

輸出は4,614億円(前年同月比3.3%減)と19か月ぶりに前年を下回った。

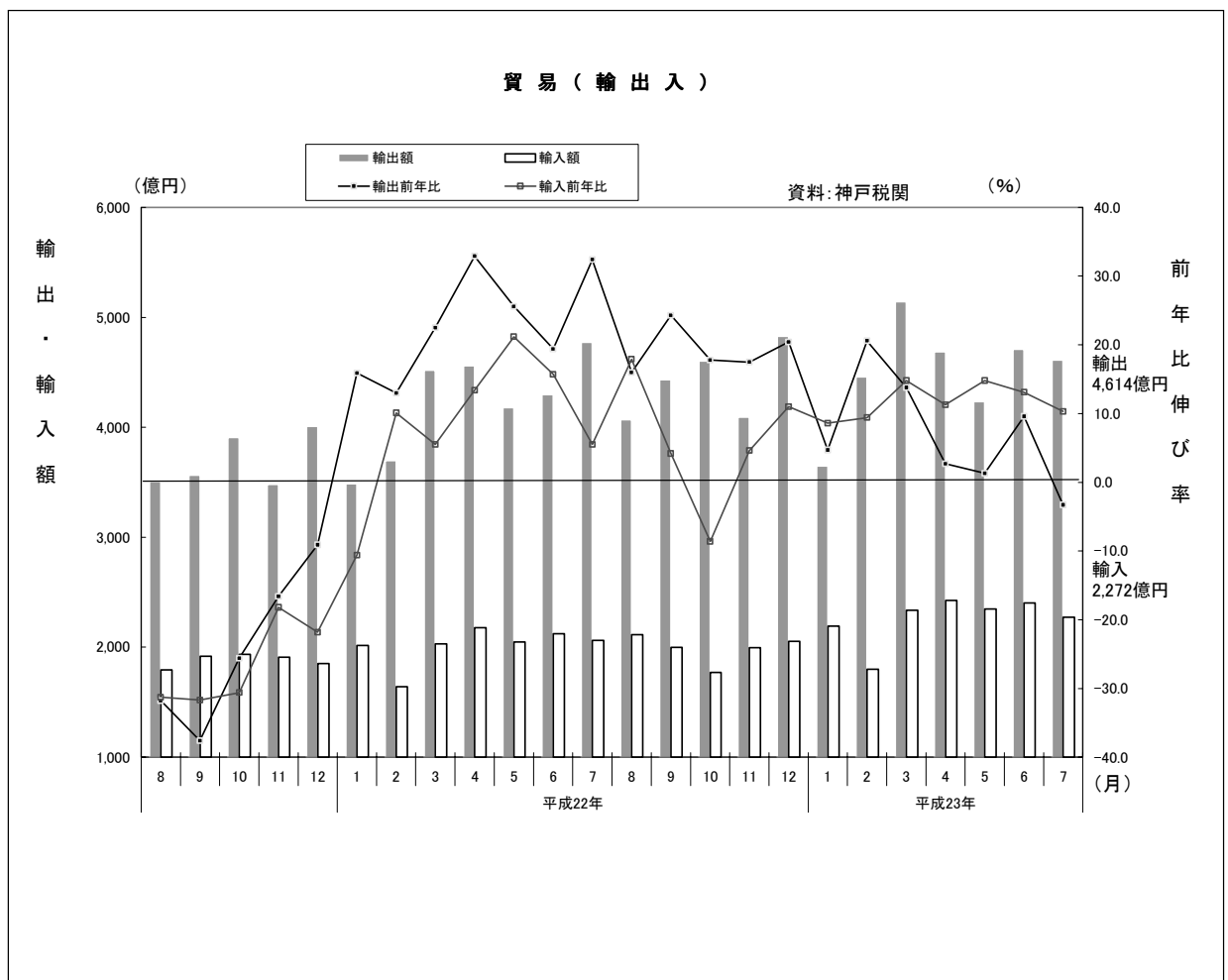
主要品目では、織物用糸及び繊維製品(前年同月比0.7%減、2か月ぶりにマイナス)、原動機(同20.6%減、3か月ぶりにマイナス)、プラスチック(同5.3%減、6か月ぶりにマイナス)が減少し、建設用・鉱山用機械(同4.1%増、19か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同0.6%減、6か月ぶりにマイナス)、中国(同1.5%減、6か月ぶりにマイナス)、米国(同11.5%減、19か月ぶりにマイナス)向けが減少し、EU(同22.4%増、13か月連続プラス)向けが増加した。

輸入は2,272円(前年同月比10.3%増)と9か月連続で前年を上回った。

主要品目では、衣類及び同付属品(前年同月比29.9%増、13か月ぶりにプラス)、たばこ(同4.0%増、6か月連続プラス)、非鉄金属(同11.2%増、3か月ぶりにプラス)、有機化合物(同41.0%増、18か月連続プラス)が各々増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同11.8%増、9か月連続プラス)、中国(同21.7%増、3か月連続プラス)、EU(同10.2%増、4か月連続プラス)向けが増加し、米国(同10.9%減、6か月ぶりにマイナス)向けが減少した。



## 【物 価】『消費者物価』

8月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.0(今月より平成22年=100に変更)となり、前月比は0.3%上昇し、前年同月比は0.1%の上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は100.2となり、前月比は0.5%上昇、前年同月比は0.2%上昇した。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.9となり、前月比は0.4%上昇し、前年同月比は変わらずとなった。

前月からの動きを見ると、衣料などの値下がりにより「被服及び履物」が1.1%、家庭用耐久財などの値下がりにより「家具・家事用品」が0.9%、それぞれ下落した。しかしながら、教養娯楽サービスなどの値上がりにより「教養娯楽」が2.2%、交通などの値上がりにより「交通・通信」が0.8%、電気代などの値上がりにより「光熱・水道」が0.7%、身の回り用品の値上がりにより「諸雑費」が0.3%、それぞれ上昇した結果、総合では0.3%の上昇となった。

### 8月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	100.0	98.8	101.5	102.8	96.1	96.6	99.2	100.1	100.1	99.2	103.1	100.2	99.9
前月比	0.3	0.0	0.0	0.7	-0.9	-1.1	0.0	0.8	0.0	2.2	0.3	0.5	0.4
前年同月比	0.1	-1.0	1.5	2.0	-3.1	0.7	-0.3	-0.9	0.5	-2.1	4.4	0.2	0.0

(注)平成22年=100

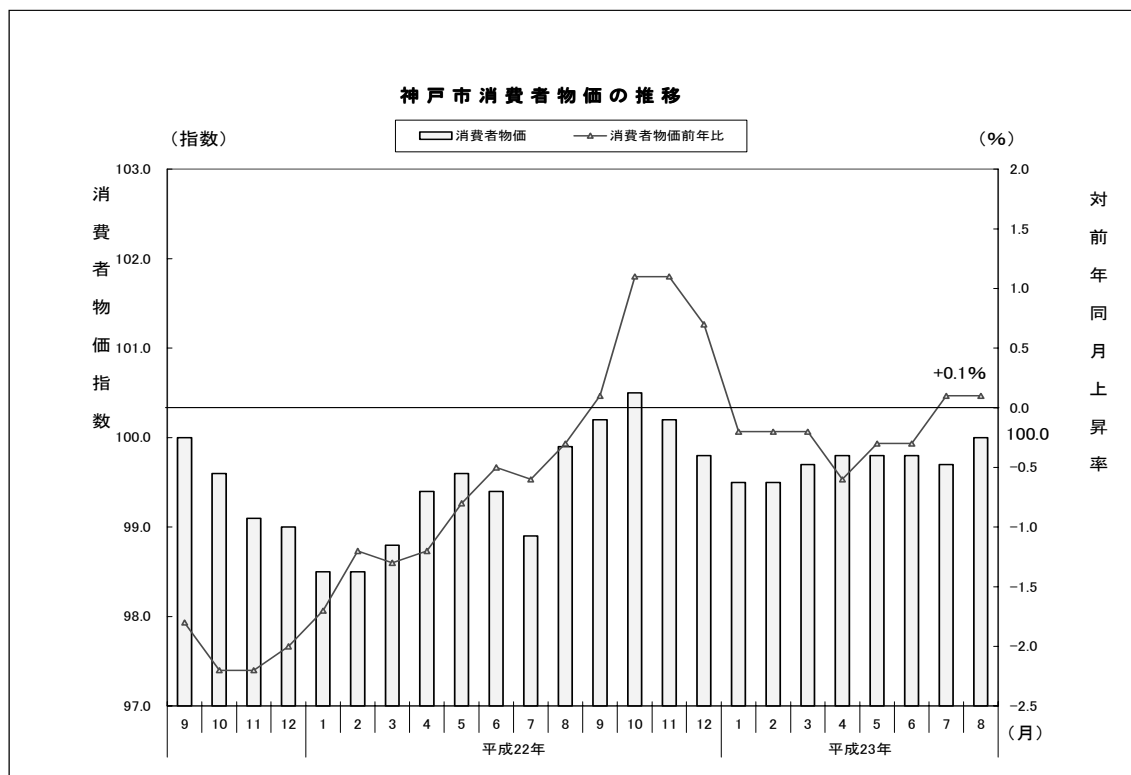
資料：兵庫県統計課

#### 対前月比値上がりした主な品目

教養娯楽サービス (+ 3.4%)・・・外国パック旅行、宿泊料  
交通 (+ 2.5%)・・・航空運賃

#### 対前月比値下がりした主な品目

衣料 ( 1.3%)・・・男児ズボン、背広服、ワンピース(春夏物)  
家庭用耐久財 ( 3.7%)・・・ルームエアコン、電気炊飯器、電気洗濯機



## 【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が9月12日に発表した、企業物価指数(速報)による2011年8月の実績は次のとおり。

### 8月の企業物価指数

(速報、2005年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	105.5	0.2	2.6
輸 出 物 価	83.1	1.8	1.3
輸 入 物 価	116.9	2.4	12.5

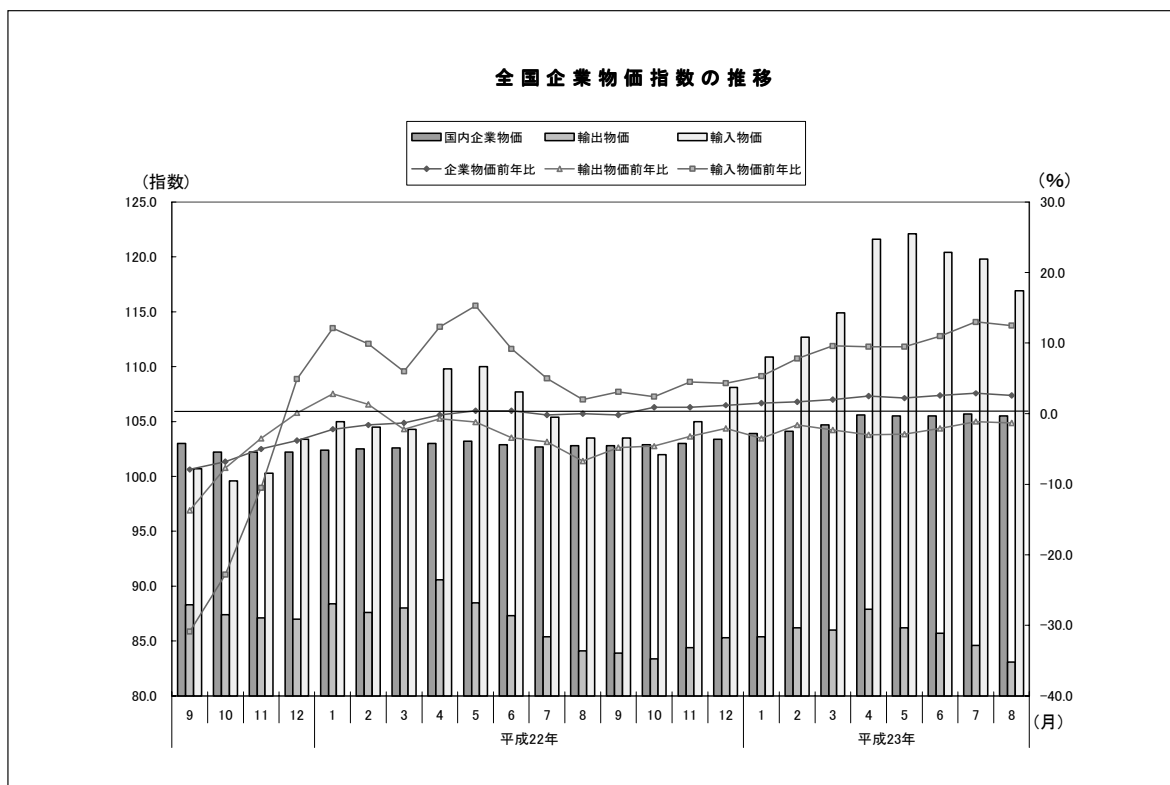
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、電力・都市ガス・水道（前月比+1.5%＜特別高圧電力など＞）、化学製品（同+0.2%＜ベンゼンなど＞）等が上昇したものの、スクラップ類（同-3.2%＜鉄くずなど＞）、非鉄金属（同-2.3%＜銅地金など＞）、石油・石炭製品（同-1.5%＜ガソリン、軽油、灯油など＞）、情報通信機器（同-0.9%＜携帯電話機など＞）、輸送用機器（同-0.1%＜普通トラックなど＞）等が低下し、全体では前月比0.2%の低下となった。

前年同月比では2.6%の上昇となった。前年比での上昇は11か月連続となったが、原油など国際商品価格が足元で下落したことにより上昇幅は3か月ぶりに縮小した。

輸出物価は、輸送用機器（前月比-2.7%＜普通・小型乗用車など＞）、電気・電子機器（同-1.9%＜集積回路など＞）、金属・同製品（同-1.7%＜金地金など＞）、化学薬品（同-0.7%＜パラキシレンなど＞）等が低下し、円ベースでは前月比1.8%の低下(前年同月比-1.3%)となった。

輸入物価は、木材・同製品(前月比-3.6%＜合板など＞)、金属・同製品(同-3.4%＜銅鉱、アルミニウム地金など＞)等が低下し、円ベースでは前月比2.4%の低下(前年同月比+12.5%)となった。



## 【雇 用】

### (1) 求人状況

県内7月の新規求人数(全数)は、22,761人(前年同月比0.3%減、前月比1.3%減)で、15か月ぶりに前年を下回った。また、月間有効求人数(全数)は57,582人(前年同月比7.0%増、前月比0.4%増)で15か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比4.1%増で17か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同7.5%減で3か月ぶりに前年を下回った。また臨時・季節では同23.4%増で9か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比7.2%増)、情報通信業(同40.3%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同6.3%増)、サービス業(同9.4%増)は前年を上回ったが、製造業(同3.4%減)、運輸業、郵便業(同6.6%減)、卸売業、小売業(同4.1%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同4.1%減)、宿泊業、飲食サービス業(同4.9%減)、医療、福祉(同2.8%減)は前年を下回った。

### (2) 求職状況

7月の新規求職申込件数(全数)は、21,687件(前年同月比11.4%減、前月比14.7%減)で、10か月連続で前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は106,671人(前年同月比8.4%減、前月比5.3%減)で14か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比13.0%減で16か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同10.1%減で2か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比48.6%増で2か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、無業者は前年同月比26.1%増で26か月連続して前年を上回ったが、在職者は同9.3%減で6か月連続して、事業主都合離職者は同25.4%減で19か月連続して、自己都合離職者は同14.7%減で14か月連続して、自営・他は同29.1%減で2か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、27,327人(前年同月比13.1%減)で、17か月連続して前年を下回った。

### (3) 求人倍率状況

7月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が0.98倍で前月を上回り、有効求人倍率については0.59倍で前月を上回った。

### (4) 失業者の状況

7月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.7%で前月より0.1ポイント悪化、完全失業者数(原数値)は292万人(前年同月差23万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は4.9%(前年同月より1.1ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は49万人(前年同月差12万人減)となった。

## 産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
23年7月	22,761	1,721	2,766	303	1,262	3,594	160	378	704	1,718	1,122	5,267	2,978
前年同月比	0.3	7.2	3.4	40.3	6.6	4.1	20.0	6.5	4.1	4.9	6.3	2.8	9.4

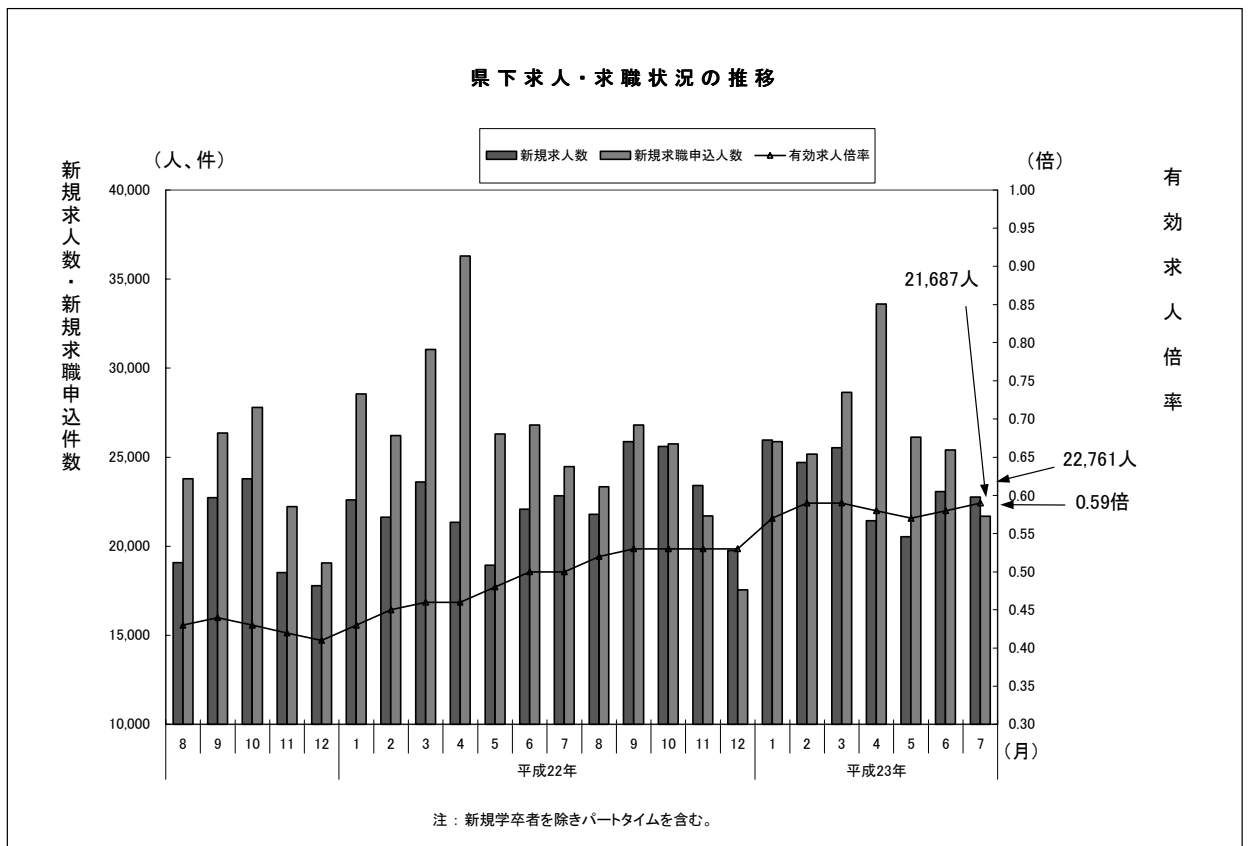
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

## 雇用・賃金の推移

項目・年月	10/7-9	10/10-12	11/1-3	11/4-6	11/5	11/6	11/7
有効求人倍率 (季調済、倍)	0.51	0.54	0.58	0.58	0.57	0.58	0.59
新規求人数 (原数値、前年比%)	11.2	14.5	12.3	4.3	8.4	4.5	0.3
所定外労働時間 (規模5人以上、前年比%)	14.7	12.5	8.3	7.5	6.0	9.0	1.9
常用労働者数 (規模5人以上、前年比%)	1.2	0.6	1.2	0.6	0.7	0.3	0.1
一人当り名目賃金 (規模5人以上、前年比%)	0.0	1.7	0.4	0.4	1.7	0.6	2.7

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部





## 【信用保証】

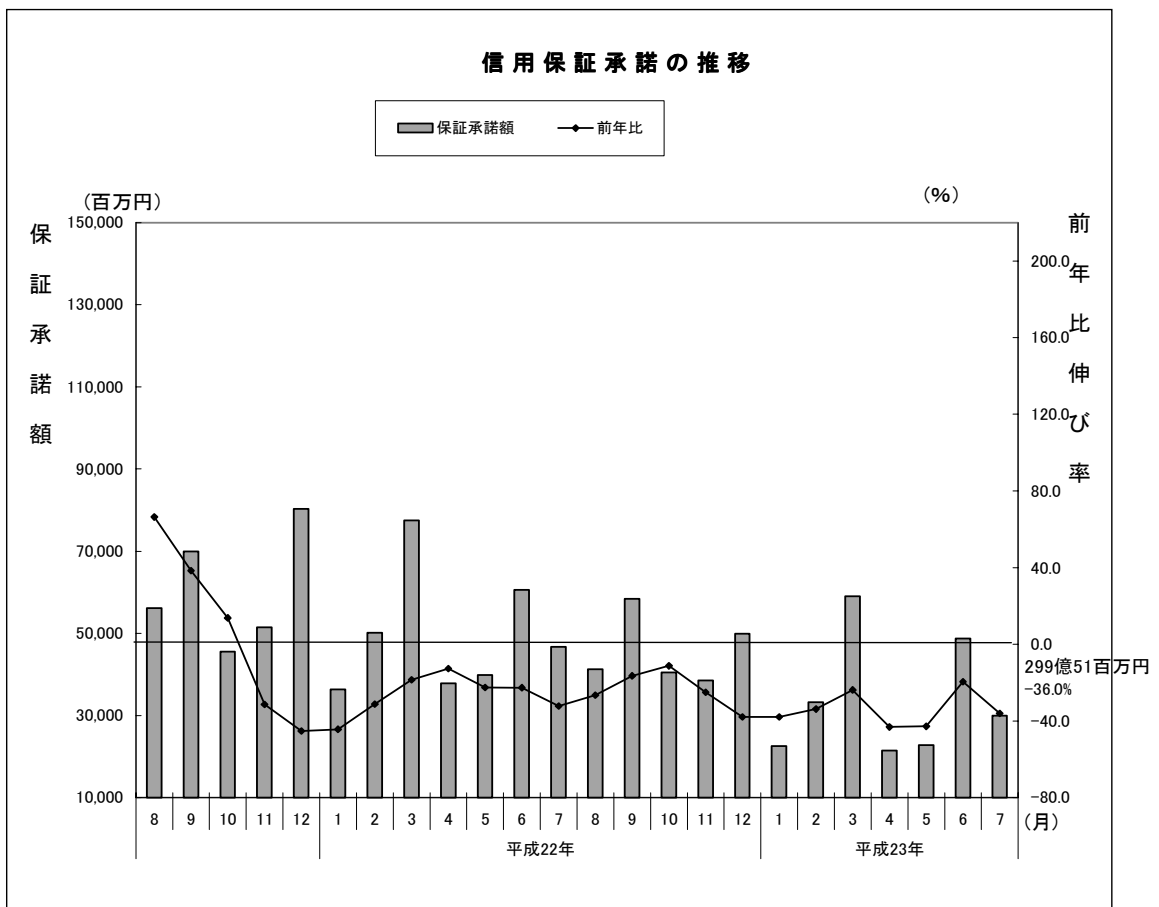
兵庫県信用保証協会による7月の保証承諾実績は、件数で1,788件(前年同月比34.1%減)、金額は299億51百万円(同36.0%減)となり、21か月連続で前年実績を下回った。

リーマンショックを受けた資金繰り支援の緊急保証制度で、承諾が増加したことによる反動減がなお続いており、件数、金額とも連続減となった。

業種別(金額ベース)では、「不動産業」1,423百万円(前年同月比19.7%減)、「製造業」6,133百万円(同29.3%減)、「卸売業」6,691百万円(同30.0%減)、「サービス業」3,448百万円(同36.3%減)、「建設業」7,324百万円(同39.3%減)、「運送・倉庫業」1,449百万円(同42.0%減)、「小売業」2,975百万円(同47.9%減)、「飲食店」492百万円(同51.4%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、247件(前年同月比17.9%減)、27億16百万円(同28.7%減)となった。

7月末の保証債務残高は、116,797件(前年同月比2.0%減)、1兆4,258億円(同3.2%減)となった。



## 【金 融】

7月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	139,419	2.3	56,363	2.7
地方銀行	23,647	2.3	19,211	0.9
第二地方銀行	30,657	2.0	19,671	0.2
信用金庫	78,788	2.0	38,540	0.1
その他	16,772	4.5	16,909	1.8
計	289,283	2.3	150,694	0.7

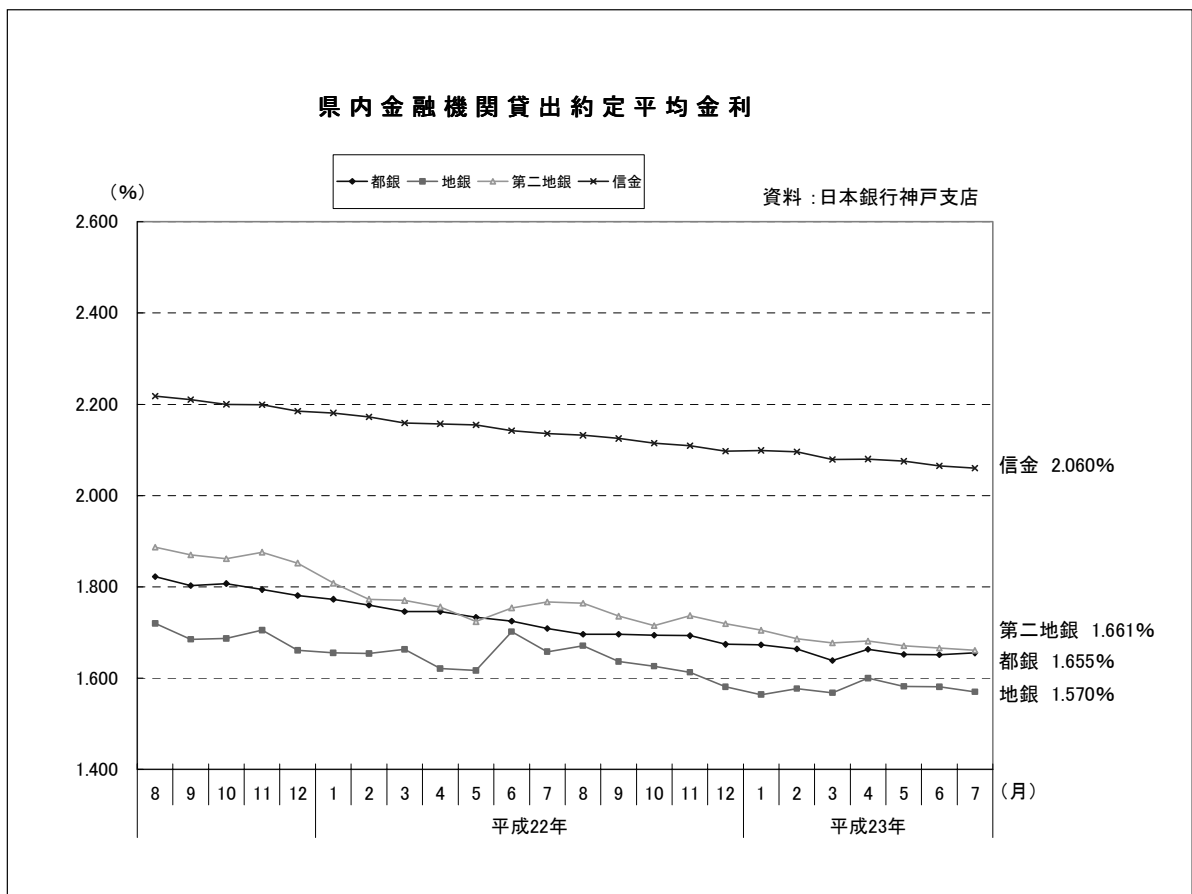
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

7月の預金は、前年を上回って推移している。

7月の貸出は、前年を下回って推移している。

7月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(7月末水準 1.788%、前月比 0.002%ポイント)。



## 【倒 産】

県内 8 月の企業倒産(負債総額 1 千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は 45 件で前年同月比 15.1%減少、負債総額は 47 億 45 百万円で同 45.7%の減少となった。

倒産件数は、2 か月連続減少、負債総額は今年最小となったが、依然として、販売不振を中心とする「不況型倒産」が 39 件発生。「個人企業」の倒産が 19 件発生するなど、当月も「小口倒産」が特徴的であった。

なお、当月は東日本大震災の間接的な原因による倒産が 2 件発生した。

原因別(件数)では、販売不振が 34 件(全体の 75.6%)と前月比 6 件の減少ながら当月もトップ。2 番目は赤字累積で 4 件、次いで信用性低下が 3 件と続いている。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等の「不況型倒産」は 39 件と前月比 11 件の減少となり、構成比は 86.7%と依然高い割合を占めている。

業種別(件数)では、建設業が 19 件(全体の 42.2%)と最も多く、2 番目は不動産・サービス他業が 7 件、次いで金属・機械・電気業および食品業がともに 6 件と続いている。

「資本金別」では、「個人企業」が 19 件でトップ、次いで「1 千万円以上」が 17 件、「1 百万円以上」が 4 件となった。

「産業別」では、「建設業」が 19 件でトップ、次いで「サービス・他業」が 10 件、「製造業」と「卸売業」が共に 6 件となった。

8 月単月で見ると、倒産件数の 2 か月連続減少や今年最小となった負債総額ではあるが、これらを踏まえて全体的な景気が上向きに転じたと捉えるには時期尚早と見られる。

前述したように、未だ「販売不振」を中心とした「不況型倒産」が大半を占めており、また、「小口倒産」が常態化している点にも注視が必要。原材料価格の全般的な高騰や歴史的な円高水準等の不安定要因は経営体力を損傷している中小・零細企業へ今後も影響を与えることが憂慮され、業績回復の波に乗り遅れている中小・零細企業を中心として「小口倒産」が引き続き発生する可能性が懸念される。

### 8 月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額 1,000 万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	0	1	-1	4	-4	金属・機械・電気	6	5	1	10	-4
過小資本	1	1	0	3	-2	化学・薬品	1	0	1	1	0
連鎖倒産	2	2	0	3	-1	ゴム・皮革・ケミカル	0	1	-1	0	0
赤字累積	4	10	-6	2	2	食品	6	16	-10	5	1
販売不振	34	40	-6	39	-5	建設	19	19	0	13	6
売掛金回収難	1	0	1	0	1	不動産・サービス	7	10	-3	16	-9
その他	3	2	1	2	1	運輸・通信他	6	5	1	8	-2
合計	45	56	-11	53	-8	合計	45	56	-11	53	-8

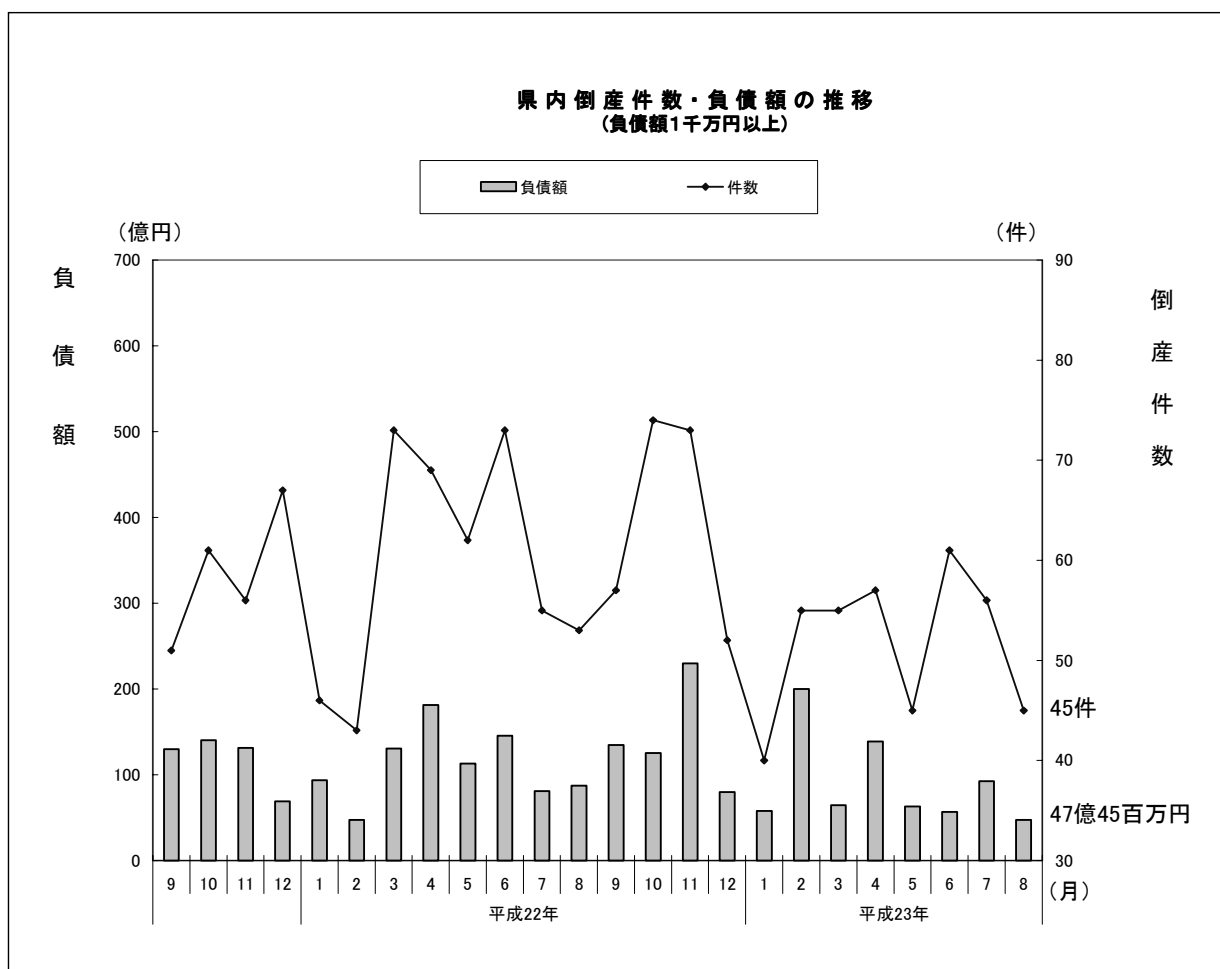
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
18年 平均	50.4	16.0	16.2	5.8	8.3	1.7	1.3	1.1
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 1月	40	6	15	7	10	2	0	0
23年 2月	55	16	14	14	6	2	2	1
23年 3月	55	16	20	12	5	1	1	0
23年 4月	57	21	17	6	10	0	2	1
23年 5月	45	14	17	3	7	1	1	2
23年 6月	61	13	23	8	12	2	1	2
23年 7月	56	18	16	8	9	2	1	2
23年 8月	45	15	9	7	10	0	2	2

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



# 県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数			
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国	
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比	
		%		(億円)		%		(戸)		%	
22年 1月	95.6	1.7	92.1	2.7	217	30.8	-3.8	2,291	13.7	-8.1	
2月	92.8	-1.3	93.7	-0.6	215	26.7	-8.8	3,387	35.5	-9.3	
3月	90.9	-2.1	94.8	1.2	602	70.9	-16.0	4,120	36.5	-2.4	
4月	94.3	3.8	96.0	1.3	300	-12.5	-0.1	2,618	-12.5	0.6	
5月	96.8	2.4	96.1	0.1	209	59.9	-5.9	2,511	17.4	-4.6	
6月	98.2	1.5	95.0	-1.1	239	-20.7	-5.8	2,426	-6.0	0.6	
7月	94.9	-3.6	94.8	-0.2	350	27.1	-8.8	3,293	25.2	4.3	
8月	97.9	4.2	94.3	-0.5	208	2.0	-8.4	3,107	44.6	20.5	
9月	95.6	-2.3	92.8	-1.6	314	-1.4	-18.8	2,836	13.3	17.7	
10月	95.3	-0.4	90.9	-2.0	257	-20.3	-18.1	2,372	-17.9	6.4	
11月	93.0	-2.3	91.8	1.0	254	22.8	-6.8	2,522	-12.2	6.8	
12月	96.9	3.9	94.8	3.3	194	-10.8	-18.1	3,273	9.1	7.5	
23年 1月	97.4	0.2	96.0	1.3	166	-23.2	-9.9	2,232	-2.6	2.7	
2月	101.3	4.1	97.9	1.8	186	-13.4	4.2	2,615	-22.8	10.1	
3月	95.8	-5.5	82.7	-15.5	346	-42.6	-3.5	2,685	-34.8	-2.4	
4月	98.8	2.1	84.0	1.6	287	-4.5	-11.2	2,607	-0.4	0.3	
5月	102.9	3.9	89.2	6.2	158	24.3	-14.1	2,093	-16.6	6.4	
6月	r 102.1	-0.8	92.6	3.8	178	-25.4	-3.4	2,817	16.1	5.8	
7月	p 99.7	-2.4	93.0	0.4	205	-41.5	-15.9	3,046	-7.5	21.2	
8月					181	-13.1	3.5				
9月											
10月											
11月											
12月											
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省	

\* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)				
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入		
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比	
		%		(億円)		%		(億円)		%	
22年 1月	13,089	29.8	24.9	202	-5.1	-5.7	3,487	15.9	2,016	-10.6	
2月	16,509	25.7	21.9	144	-9.2	-5.3	3,696	13.0	1,642	10.1	
3月	23,000	29.3	25.2	185	-3.5	-3.6	4,520	22.5	2,029	5.5	
4月	11,698	27.7	26.4	173	-3.9	-3.7	4,561	32.9	2,176	13.4	
5月	11,392	20.1	23.0	174	4.2	-2.1	4,179	25.6	2,047	21.2	
6月	14,759	17.1	18.1	175	-9.4	-5.7	4,297	19.4	2,122	15.7	
7月	16,129	10.9	12.9	219	3.6	-1.4	4,774	32.4	2,060	5.5	
8月	14,456	45.9	40.1	161	-2.0	-3.0	4,072	16.0	2,115	17.9	
9月	16,338	-6.2	-3.2	159	-5.1	-5.0	4,431	24.3	1,998	4.2	
10月	9,670	-29.8	-25.9	176	-1.2	0.6	4,606	17.9	1,771	-8.5	
11月	10,036	-31.3	-29.8	193	-0.2	-0.4	4,092	17.5	1,997	4.6	
12月	9,426	-26.9	-25.5	267	-1.3	-1.5	4,827	20.4	2,053	11.0	
22年 1月	10,161	-22.4	-19.0	199	-1.2	-1.1	3,650	4.7	2,191	8.6	
2月	13,994	-15.2	-13.8	153	-0.5	0.6	4,460	20.7	1,799	9.4	
3月	14,841	-35.5	-37.4	175	-5.4	-15.0	5,143	13.8	2,337	14.8	
4月	5,776	-50.6	-48.5	175	0.7	-1.8	4,686	2.7	2,425	11.3	
5月	7,635	-33.0	-33.3	167	-4.2	-2.6	4,234	1.3	2,348	14.8	
6月	11,464	-22.3	-21.9	170	-2.6	0.1	r 4,712	9.7	r 2,403	13.2	
7月	11,459	-29.0	-25.6	215	-1.7	-0.4	p 4,614	-3.3	p 2,272	10.3	
8月	10,264	-29.0	-26.0	156	-3.2						
9月											
10月											
11月											
12月											
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局		神戸税関			

\* p は速報値 r は確報値

\* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (12年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
22年 1月	0.43	0.46	999	-0.4	96.4	-2.9	98.5	-1.7	100.1	-1.3
2月	0.45	0.47	997	-0.6	96.7	-1.0	98.5	-1.2	100.0	-1.1
3月	0.46	0.49	993	-0.3	97.3	-0.7	98.8	-1.3	100.3	-1.1
4月	0.46	0.48	1,000	-0.9	98.1	-0.2	99.4	-1.2	100.4	-1.2
5月	0.48	0.50	1,003	-1.1	97.2	0.4	99.6	-0.8	100.3	-0.9
6月	0.50	0.52	1,002	-1.0	98.0	0.6	99.4	-0.5	100.1	0.0
7月	0.50	0.53	1,004	-0.4	97.9	0.4	98.9	-0.6	99.5	-0.9
8月	0.52	0.54	1,002	-0.5	97.7	0.6	99.9	-0.3	99.7	-0.9
9月	0.53	0.55	1,003	-0.4	98.3	0.5	100.2	0.1	99.9	-0.6
10月	0.53	0.56	1,005	0.2	98.1	1.2	100.5	1.1	100.2	0.2
11月	0.53	0.57	1,007	0.2	98.3	0.6	100.2	1.1	99.9	0.1
12月	0.53	0.57	1,004	-0.1	98.0	0.7	99.8	0.7	99.6	0.0
23年 1月	0.57	0.61	1,001	0.2	96.5	0.1	99.5	-0.2	99.5	-0.6
2月	0.59	0.62	998	0.1	96.7	0.0	99.5	-0.2	99.5	-0.5
3月	0.59	0.63	996	0.3	98.5	1.2	99.7	-0.2	99.8	-0.5
4月	0.58	0.61	1,009	0.9	98.3	0.2	99.8	-0.6	99.9	-0.4
5月	0.57	0.61	1,012	0.9	97.2	0.0	99.8	-0.3	99.9	-0.4
6月	0.58	0.63	1,013	1.1	97.5	-0.5	99.8	-0.3	99.7	-0.4
7月	0.59	0.64	1,015	1.1	97.5	-0.4	99.7	0.1	99.7	0.2
8月							100.0	0.1		
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (17年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %				神戸	阪神	播磨他
22年 1月	102.4	-2.2	152,961	0.1	1.649	46	94	11	17	18
2月	102.5	-1.6	152,784	0.1	1.641	43	47	17	12	14
3月	102.6	-1.3	153,787	-1.0	1.623	73	131	24	25	24
4月	103.0	-0.2	151,763	-1.3	1.618	69	181	21	28	20
5月	103.2	0.4	152,195	-1.5	1.614	62	113	22	18	22
6月	102.8	0.4	151,049	-1.3	1.599	73	146	26	25	22
7月	102.8	-0.2	151,709	-1.2	1.597	55	81	12	21	22
8月	102.8	0.0	150,656	-1.2	1.588	53	87	20	14	19
9月	102.9	-0.2	151,553	-1.4	1.565	57	135	22	17	18
10月	102.9	0.9	151,406	-1.1	1.569	74	125	28	28	18
11月	103.0	0.9	150,620	-1.0	1.566	73	230	29	22	22
12月	103.4	1.2	152,555	-0.8	1.551	52	80	18	20	14
23年 1月	103.9	1.5	151,540	-0.9	1.547	40	58	6	15	19
2月	104.1	1.7	151,452	-0.9	1.539	55	200	16	14	25
3月	104.7	2.0	154,140	0.2	1.519	55	65	16	20	19
4月	105.6	2.5	151,177	-0.4	1.521	57	139	21	17	19
5月	105.5	2.2	150,788	-0.9	1.512	45	63	14	17	14
6月	105.5	2.6	150,230	-0.5	1.508	61	57	13	23	25
7月	r 105.7	2.9	150,694	-0.7	1.501	56	93	18	16	22
8月	p 105.5	2.6				45	47	15	9	21
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

\* p は速報値 r は確報値